

国語総合Ⅱ(Japanese)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	必修	2年	2	講義	一色誠子(CA) 好村友江(ME,IE)

【授業の概要】

一年次の基礎的な学習をふまえて、柔軟なものの見方・考え方ができるように、多くの文章や作品を読むことによって発展させていくことを目標とする。

【授業の進め方】

現代文を中心に授業をすすめていく。授業では、学習の指針となり学習履歴となる「学習シート」を毎時間使用する。漢字・ことばの学習は、テキストを用いて自宅での自主学習を基本とするが、月一回の確認テストを実施する。適宜「課題ノート」の提出を求める。

【授業の概要】	【授業項目】	【内 容】
1回	授業の進め方について 解説文	授業の進め方について、シラバスを用いて説明する。
2回	随 想	石田衣良『『迷う』力のすばらしさ』その1
3回	随 想	石田衣良『『迷う』力のすばらしさ』その2
4回	随 想	石田衣良『『迷う』力のすばらしさ』その3
5回	随 想	橋本治「敬語への自覚、他者への自覚」その1
6回	随 想	橋本治「敬語への自覚、他者への自覚」その2
7回	随 想	橋本治「敬語への自覚、他者への自覚」その3
8回	中間試験	1回～7回までの単元を範囲とする。
9回	評 論	中間試験の返却と解説 長谷川権「和の思想、間の文化」導入
10回	評 論	長谷川権「和の思想、間の文化」その1
11回	評 論	長谷川権「和の思想、間の文化」その2
12回	評 論	長谷川権「和の思想、間の文化」その3
13回	評 論	長谷川権「和の思想、間の文化」その4
14回	評 論	長谷川権「和の思想、間の文化」その5 グループワーク
	期末試験	9回～14回までの単元を範囲とする。
15回	解答返却など	期末試験の返却と解説 夏目漱石「こころ」の導入
16回	小 説	夏目漱石「こころ」その1
17回	小 説	夏目漱石「こころ」その2
18回	小 説	夏目漱石「こころ」その3
19回	小 説	夏目漱石「こころ」その4
20回	小 説	夏目漱石「こころ」その5
21回	小 説	夏目漱石「こころ」その6
22回	小 説	夏目漱石「こころ」その7
23回	中間試験	16回～22回までの単元を範囲とする。

24回	随想	林望「夢を建てる人々」その1				
25回	随想	林望「夢を建てる人々」その2				
26回	随想	林望「夢を建てる人々」その3				
27回	詩	室生犀星「小景異情」その1				
28回	詩	室生犀星「小景異情」その2 茨木のり子「六月」その1				
29回	詩	茨木のり子「六月」その2				
	期末試験	24回～29回までの単元を範囲とする。				
30回	解答返却など	期末試験の返却と解説 一年間の学習のまとめ				
【到達目標】	文章を正しく読むと同時に考えながら読み、自らの考えを表現することができるようにする。また、辞書を積極的に引き、語彙力をつける。					
【徳山高専学習・教育目標】	A2	【JABEE基準】				
【評価法】	定期試験 80%、漢字確認テスト 10%、グループワーク・報告 5%、課題 5%で総合評価する。 学年末評価計算式：(前期中間 + 前期末 + 後期中間 + 後期末) / 4 (80%) + 漢字確認テスト (10%) + グループワーク・報告 (5%) + 課題 (5%)					
【テキスト】	テキスト：「現代文A」(大修館書店) 副教材：「学習課題ノート現代文A」(大修館書店)、「国語図説」(京都書房)、「ジャンプアップ高漢字問題集」(東京書籍) 図説と漢字テキストは1年次のものを引き続き使用する					
【関連科目】	国語総合I					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】